

陶磁器デザイン講演会 / 主催; 公益財団法人日本陶磁器意匠センター

工藤省治 / 「私の仕事」 <業(わざ)、創作、育成 >

大野千佳 / 「砥部焼とデザイン」 <梅山窯に見る、昭和のデザイン運動と砥部焼 >

本財団では、公益事業のひとつとして「陶磁器意匠に関する講演会」を開催しています。陶産地の窯元・デザイナー、後継者、或いは消費者の皆さまにとって、ものづくりや見方・考え方の礎となり、やきものについて深く考える契機となるような講演会になればと、願って開催するものです。

本年度は、戦後の砥部焼(愛媛県)の再生・発展に大きく貢献された工藤省治氏と、その砥部焼の発展を支えた商品開発の動きについて研究された大野千佳氏に講演して頂きます。

本講演会では、職人的な手作業と、その組織化、そして持続的な後継者育成によって、個性的な産地に発展した戦後の砥部焼を、商品開発の視点から大野氏に俯瞰して頂き、その発展の中心にあって、砥部焼に大きなデザイン資産を残される仕事をされた工藤氏から、ご自身の創作活動や産地の人材育成について、また、陶磁器制作に関わる後進の方々への思い伺いたいと考えています。

#### <講師プロフィール>

工藤省治(くどう しょうじ)

1934年 青森県生まれ

1957年 砥部焼・梅山窯(梅野精陶所)入所

1963年 第1回「今日のクラフト展」(丸善クラフトセンタージャパン)招待出品

1964年 第1回丸善クラフトセンター賞 銀賞入賞

1972年 「ファエンツァ国際陶芸展」招待出品

以後、国内外への招待出品、多数。

1974年 陶磁器研究工房「春秋窯」設立

1989年 第17回「国井喜太郎産業工芸賞」受賞

1997・98年 「現代日本のセラミックデザイン展」(愛知県陶磁資料館)招待出品

2000年 「現代器考」(東京国立近代美術館工芸館)招待出品

2001年 通商産業大臣デザイン功労者表彰

2002年 「工藤省治陶磁器デザイン展」(町立久万美術館 / 愛媛県久万高原町)

2004年 「現代の名工」厚生労働大臣表彰

2007年 「黄綬褒章」受章

2013年 「工藤省治陶磁器集」(創風社出版)発刊

2014年3月 愛媛県美術館にて「工藤省治の仕事と昭和のデザインプロジェクト」展開催

大野千佳(おおの ちか)

愛媛県松山市出身。松山市内のデザイン制作会社、出版社勤務を経て、2002年よりフリーラン

スのコピーライター。出版・広告制作のほか、松山市ことばのちから委員など、まちづくりや地域ブランディングにも携わる。2004年10月、武蔵野美術大学通信教育課程に入学。在学中に砥部焼に関心を持ち、元陶工に取材した卒論「梅山窯に見る、昭和のデザイン運動と砥部焼」は2008年度優秀賞に選ばれる。「工藤省治の仕事と昭和のデザインプロジェクト」展(平成26年3月、愛媛県美術館にて開催)実行委員。エヒメデザイン協会会員

#### 開催要領

日 時; 12月9日(火)、午後6時30分から8時45分(予定、時間超過の可能性あり)

・開会挨拶

・講師紹介

(予定)午後6時35分～7時25分

・大野千佳 / 「砥部焼とデザイン」 <梅山窯に見る、昭和のデザイン運動と砥部焼>

・(持ち時間の最後15分ほどを使い、大野さんと工藤さんの対談形式にて、  
工藤作品の紹介)

(予定)午後7時30分～8時40分

・工藤省治 / 「私の仕事」 <業(わざ)、創作、育成>

<会場からの質問を受ける>

・閉会挨拶

場 所; セラトピア土岐 /

岐阜県土岐市土岐津町高山4 TEL 0572-54-2120

後 援; 愛知県公立大学法人 愛知県立芸術大学

協 賛; 国際陶磁器フェスティバル美濃実行委員会、

岐阜県陶磁器工業協同組合連合会、

岐阜県陶磁器デザイナー協会

土岐市立陶磁器試験場・セラテクノ土岐

#### \* お知らせ

工藤省治氏プロフィールにあります、

- 1) 「工藤省治陶磁器デザイン展」(2002年、久万美術館)の図録
- 2) 「工藤省治陶磁器集」(2013年、創風社出版)

この2点は、本財団にありますので、いつでもご覧頂けます。

# 陶磁器 デザイン 講演会

台風により中止となった10月の講演会を  
12月9日、下記要領にて振替開催します

● 講師

工藤省治

「私の仕事」

〈業(わざ)、創作、育成〉

大野千佳

「砥部焼とデザイン」

〈梅山窯に見る、昭和のデザイン運動と砥部焼〉



「染付切立唐草文皿(昭和五十年代・梅山窯)」 玉泉豊撮影

本財団では、公益事業のひとつとして「陶磁器意匠に関する講演会」を開催しています。陶産地の窯元・デザイナー、後継者、或いは消費者の皆さまにとって、ものづくりや見方・考え方の礎となり、やきものについて深く考える契機となるような講演会になればと願って開催するものです。

本年度は、戦後の砥部焼(愛媛県)の再生・発展に大きく貢献された工藤省治氏と、その砥部焼の発展を支えた商品開発の動きについて研究された大野千佳氏に講演して頂きます。

本講演会では、職人的な手作業と、その組織化、そして持続的な後継者育成によって、個性的な産地に発展した戦後の砥部焼を、商品開発の視点から大野氏に俯瞰して頂き、その発展の中心にあって、砥部焼に大きなデザイン資産を残される仕事をされた工藤氏から、ご自身の創作活動や産地の人材育成について、また、陶磁器制作に関わる後進の方々への想い伺いたいと考えています。

日時 2014年12月9日(火) 午後6時30分～8時45分 ※予定

会場 セラトピア土岐 3階

岐阜県土岐市土岐津町高山4 Tel. 0572-54-2120

参加費 無料(事前申込不要)



撮影 玉泉豊



工藤省治 Shoji Kudo (左)

愛媛県砥部にて陶磁器研究工房「春秋窯」主宰、梅野精陶所(梅山窯)にて長年、商品開発・デザインディレクターを務める。

大野千佳 Chica Ohno (右)

「工藤省治の仕事と昭和のデザインプロジェクト展」(愛媛県美術館、本年3月開催)に実行委員として携わる。コピーライター。エヒメデザイン協会会員。

〈後援〉愛知県公立大学法人 愛知県立芸術大学

〈協賛〉国際陶磁器フェスティバル美濃実行委員会/岐阜県陶磁器工業協同組合連合会/  
岐阜県陶磁器デザイナー協会/土岐市立陶磁器試験場・セラテクノ土岐

〈主催〉公益財団法人 日本陶磁器意匠センター

名古屋市中区代官町39番18号 Tel. 052-935-7234

10th Anniversary  
国際陶磁器フェスティバル美濃'14  
INTERNATIONAL CERAMICS FESTIVAL '14 MINO, JAPAN